

2022.3.13 「水戸一高附属中必勝クラス」開講説明会

1. 県立中高一貫校 入試分析

1 - 1. 得点分布など

1 - 2. 特徴的な問題

1 - 3. 出題傾向

1 - 4. 水戸一高附属中合格のために

1 - 1. 得点分布など

○合格の目安（検査Ⅰ・検査Ⅱの合計点）

水戸一附属 = 160 点、並木中等 = 150 点、

土浦一附属 = 150 点、日立一附属 = 140 点、

勝田中等 = 110 点、…

※採点は学校ごとに行われます。

→水戸一附属で合格点をとるためには、

「高いレベルでの対策」が必要

1 - 1. 得点分布など

○合格最低点と不合格最高点の「逆転」

・ 合否に影響する要素

①学校の調査書

②志願理由書

③当日の試験の点数（検査Ⅰ・検査Ⅱ）

④グループ面接の評価

2022.3.13 「水戸一高附属中必勝クラス」開講説明会

1. 県立中高一貫校 入試分析

1 - 1. 得点分布など

1 - 2. 特徴的な問題

1 - 3. 出題傾向

1 - 4. 水戸一高附属中合格のために

2022.3.13 「水戸一高附属中必勝クラス」開講説明会

1. 県立中高一貫校 入試分析

1 - 1. 得点分布など

1 - 2. 特徴的な問題

1 - 3. 出題傾向

1 - 4. 水戸一高附属中合格のために

1 - 3. 出題傾向

○全体的な傾向が大きく変化

・ 解答用紙が I、II それぞれ $A3 \times 2 \rightarrow A3 \times 1$ へ

・ 不合格者へ、結果通知とともに解答用紙の写しを送付

= 「採点ミスを起こさない」ための措置



・ 記述問題大幅減 (20 題 \rightarrow 2 題)、選択問題、単問が増加

・ 昨年度に比べ、大きく易化

1 - 3. 出題傾向 (科目別)

○算数

「図形」「数論」など、テーマ自体は変わらず。

(ただし、「過程を見る」問いがなくなり、差がつかない?)

○国語

記述問題はごく少数ながら、採点基準が極めて厳格。

ほんの僅かな表現の違いから 10 点近い減点も。

→問いを読み、正確に答えることが非常に重要。

1 - 3. 出題傾向（科目別）

○理科

「地学」「化学」分野から出題。記号選択の問題は、複数選択（完答）のものもあり、やや差がついた。

○社会

記述式の問題がなくなったことで易化。「資料から意図を読み取る」要素がなくなった。正誤問題も、選択肢の文言が明らかに異なるものが多く、答えやすかった。

2022.3.13 「水戸一高附属中必勝クラス」開講説明会

1. 県立中高一貫校 入試分析

1 - 1. 得点分布など

1 - 2. 特徴的な問題

1 - 3. 出題傾向

1 - 4. 水戸一高附属中合格のために

1 - 4. 水戸一高附属中合格のために

○塾内月例テストでの目安

前提となるのは4教科の学力

=アタックテスト、育伸社Bテスト

※一方で、「適性検査らしさ」に対する慣れは必要

=一貫模試／公中検模試、水戸一高附属中必勝

○適性検査以外への対策

- ・ 小学校の調査書
- ・ 志願理由書

学校に対する理解、お子様の意欲が何より大切。

水戸アカデミーでも添削、アドバイスを実施。

- ・ グループ面接

必勝クラスでトレーニング実施。